

企業現場見学会 2026 実施企業を募集します

産学交流委員会 人材交流小委員会

はじめに

産学交流委員会 人材交流小委員会では学生会員と法人会員をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しています。本稿では2026年の実施企業を募集します。

『企業現場見学会』の対象と特徴

化学産業は日本経済を支える基幹産業です。事実、化学産業における付加価値額（約18兆円）および研究費（約3兆円）は、輸送用機械器具に次ぐ国内第2位の規模を誇り、技術立国日本の原動力となっています。

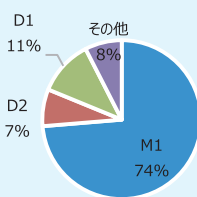
化学分野の研究者・技術者を志す学生にとって、実際の工場や研究所を五感で体験し、第一線で活躍する社員の方々と交流することは、自身のキャリアパスを具体化する上で極めて重要な機会となります。また、企業にとっても、自社の技術力や社風、社会課題解決に向けた取り組み（GXやDXなど）を学生にダイレクトに伝えられる点は、非常に有意義です。

本企画は、学生と企業をつなぐ「生きた情報の場」として実施いたします。この見学会を通じて、企業と学生の相互理解が深まることはもちろん、志を同じくする学生会員同士のネットワークが広がることを期待しています。

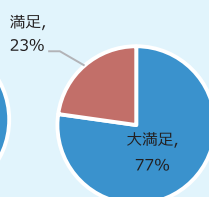
参加学生の内訳やコメント

昨年度は、9月から11月にかけて、8カ所で開催され、約130名の学生が参加しました。参加したのはM1の学生が中心であり、すべての学生から「大満足・満足」の評価をいただきました。また、参加者アンケートでは次のような意見がありました。「説明会や研究室の見学、社員

◇参加者学年内訳



◇満足度



◇参加者の所属一覧（順不同）

〔国公立〕科学大、筑波大、京大、横国大、東大、阪大、北大、高知工科大、お茶大、奈良女大、名工大、阪公大、信大、名大、埼玉大、兵庫県立大、金沢大、神戸大、奈良先端大、岡山大、農工大、九大、三重大、弘前大、静大
〔私立〕立命館大、東理大、明大、慶大、関西学院大、立教大、上智大、早大、同志社大、東京電機大、東京都市大、千葉工大、甲南大

の方々との懇談を通じて、「研究開発職の仕事内容や職場環境について理解を深めることができた」、「研究センターを訪れることで、社員の方々の雰囲気や働く環境を肌で感じる事ができた」、「原料から製品へと形になっていく過程を間近で見ること、設備のスケール感や緻密な管理体制を実感することができた」。

開催報告の詳細は下記のウェブサイトをご参照下さい。

URL: <https://www.chemistry.or.jp/activity/industry-university/past.html#gmb>

募集要項

開催時期：9～11月のうち希望日をご指定下さい（指定期間外を希望される場合はご相談下さい）。

募集対象企業：本会法人会員であり、見学受入れ協力が可能な企業。

実施内容：化学を学ぶ学生を対象とした半日程度の工場や研究所の見学会の実施。
※見学会の内容および最少・最大催行人数は各社で自由に設定いただけます（見学に限らず研究所長による講演や若手社員との座談会・意見交換会など）。

※参加する学生会員は現地集合、現地解散を原則とします。

※当日の運営や開催報告記事用の写真撮影などは各社でお願いします（本会職員は当日現地には赴きません）。

※実施終了後簡単なアンケートにご協力をお願いします。

対象者：本会学生会員（応募多数の場合は抽選）。定員に余裕がある場合は本会学生会員以外も参加可とします。

申込方法：本会ウェブサイトより。

申込一次締切：5月15日（金）

事務手続き手数料：110,000円（税込み）（見学会初参加の企業につきましては、初回割引として77,000円（税込み）でご参加いただけます。別途事務局までご相談下さい。）

事務手続き手数料に含まれるもの：

- 周知・広報
 - ・会員宛メール配信
 - ・開催情報掲載（ウェブサイト、会誌）
- 参加登録管理
 - ・参加者受付サイトの作成、管理
 - ・参加者名簿の作成
 - ・参加者への案内
- 報告
 - ・開催報告記事掲載（ウェブサイト、会誌）
 - ・参加学生向けアンケートの実施、取りまとめ

おわりに

会員各社様からの現場見学の提案をお待ちしております。また本企画へのご要望も承ります。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔産学交流委員会 人材交流小委員会委員長
高村岳樹（神奈川工科大）〕

© 2026 The Chemical Society of Japan